



日本共産党 倉島 良司

TPP交渉、即時撤退を日本の主権を大切に思う心で

質問 市長は昨年の6月議会で、「機会をとらえ政府に対し、反対の要請を行いたいと考えている」と答弁された。また今年の6月、稲毛議員の質問にも、「必要ときに必要な行動を考えている」と答弁されている。すでに最終段階とも言われているTPP問題だが、課題は山積している。農業団体は勿論、医師会、大学教員の会、TPPに反対する

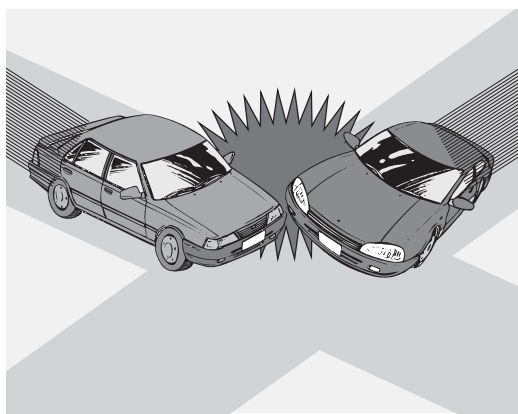
弁護士ネットワークなど、国会議員の6割を超える皆さんが慎重、反対を公約している。あらゆる立場からの声を聞いても、即時撤退が国益にかなうと思う。先の答弁をどう具体化し、実行されようとしているのか伺う。

答弁 先のブルネイで開催された12カ国閣僚会合の共同声明では、「2013年度中の妥結に向け交渉を加速する」方針を明確にしたが、各国とも守りたい重要分野を抱えており「相互に受け入れ可能な協定」の実現へ努力するとしている。今後引き続き日本政府には、農業分野重要5品目の関税撤廃は譲れない姿勢で交渉に臨み、国民との約束を守ってもらえるものと信じている。

市道での交通事故多発を憂える

質問 駒林地区の主要道路での交

通事故が跡を絶たないのに加え、広域農道との交差点での事故も目を覆うような大きな事故が続発している。現状をどう考え、対処しようとしているのか伺う。



答弁 阿賀野市全体では交通事故は減っているが、駒林地内では多発している。信号機や一時停止規制などについては、今後も警察署など関係機関に、効果的な対策の実施を求めている。



無会派 遠藤 智子

高速バス利用者駐車場について

質問 安田インターに隣接の市のパークアンドライド駐車場は狭く、高速バス利用者は安田インターゲート脇のネクスコ東日本の業務専用駐車場を併用させてもらってきたが、業務の都合として駐車禁止となり、市の駐車場だけでは対応不可能な状態になっているとの声がある。

答弁 駐車禁止措置の経緯や理由については、施設を管理しているネクスコ東日本新潟支社に照会中であり、当面はネクスコ東日本の駐車場を、管理に支障のない範囲で利用させてもらえる方法等、同社との交渉を考えている。

パークアンドライドとは
家用車を駐車場に駐車し、公共交通（バス、電車等）に乗り換えて目的地へ行くこと。地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出抑制に効果がある。



安田 IC 駐車場

歴史、文化遺産の保存と活用について

質問 五頭の麓のくらし館は、建設から約半世紀以上経過し経年劣化が見られ、資料の展示・収蔵施設の検討について、3年前の同質問に対する答弁は、案として資料の展示は笹神支所、収蔵は廃校舎と考えている。また移転の場合、収集、展示に御尽力された方々との協議は不可欠であるとのことだった。その後の検討は。

答弁 現在地での運営は、大規模改修なしには不可能と考えている。また散在する旧4カ町村の民俗資料や埋蔵文化財の収蔵場の一元化なども考慮し、現在市で策定中の公共施設再編整備計画の中で、移転改築など検討を進めている。開館に御尽力いただいた方々へは、資料館の現状報告と共に方針としての複数案を示している段階である。

● 8月1日県事業要望会が開催されました ●

この会は、阿賀野市民の生活や生産活動基盤の整備促進を図る事を目的として開催するものです。

○参加者

- ・ 県側…地元県議・新発田地域振興局地域整備部長・同農村整備部長及び関係課長

- ・ 市側…市長・産業建設部長・関係各課長及び担当職員

- ・ 議会…議長・産業建設常任委員長

○要望箇所…20カ所

- 内訳 (道路新設関係—2 ・ 道路改良関係—7)
(維持管理関係—7 ・ 河川・排水関係—10)

当日は、午前水原・京ヶ瀬地区、午後安田・笹神地区の各要望箇所を現地視察の後、新潟県土木部及び農地部の両技監のご出席をいただき、総評及び意見交換会が開かれ、成果あるものでした。



駒林川現地視察のようす (山口地内)



安野川現地視察のようす (大野地地内)



無会派 山賀 清一

スポーツ施設について

質問 東京五輪開催日本気付き。平成の合併から間もなく10年、49号阿賀野バイパス開通に向け将来的に大きく変化しようとしている。周辺改革によって市の命運にも左右。人口移動の生産的手段を積極的に推進、打って出る施策を構築すべきであるが、どう活性化させる覚悟があるのか。市が発展し元気がでる。将来若者達に夢と希望を与え育む。更には健康で健

全なスポーツ施設を都市計画と共に早急に策定し大々の抜本策が必要不可欠と考えるが、どのような認識か。そのことにより県内外からも誘客可能で自然と観光宿泊施設も活き相乗効果は十分にあり。更に災害時には緊急避難所にも活用する実態多機能がある。所見を伺う。一元集中多目的施設を大規模改革計画をやること、すべての無駄排除となる。財政面の負担軽減を図るため極力有利な助成補助制度を最大限活用すべき。国・県補助事業、スポーツ振興くじ助成事業、防衛施設周辺整備事業、起債等融資事業等々をフルに活かすべきである。どう活かす決断を持っているか。分散多極型でなく一元包括的の事業で効率良く効果可能な施設を市民も期待するが後手後手行政にならぬよう情報の伝達不足が不利益を招くことにならない。所見を伺う。

答弁 都市機能の質を高めていく。さまざまな事業参加の機会を提供しながら市民参加と交流が積極的に行われ、事業や活動の効果が十分発揮できるよう取り組んでいきたいと考えている。施設の一体的な利用が可能となる公共施設の整備を検討し、交流拠点化を図る。全体的に検討、今後の議論とする。

